

# UAゼンセン瑞祥会・ルポアユニオン ユニオンニュース

第35号

2021年3月20日発行

発行責任者 船川 健吾

編集責任者 神余 秀紀



瑞祥会・ルポアユニオンHP

<https://zuishou-ru.com/>

## 2021年度 労働条件闘争 中間報告

～すべての仲間の労働条件改善のために～

労働条件闘争第2回目の団体交渉を3月2日（火）18：30からZoomを使用して開催し、8日（月）18：30から東かがわ市交流プラザにて、18日（木）18：30からはZoom使用し第3回、第4回目の団体交渉を開催しました。

主に賃上げ、所定労働時間短縮、定年延長について交渉を行いました。

以下に交渉の経過をお知らせいたします。すべての仲間が安心して働き続けていけることを念頭に置き、交渉を継続していきます。

### 1. 賃上げについて

賃上げ原資5180万円の根拠については、「今年度は売り上げが減少したため3.5%とし、今年度の人件費14億8千万円に乗じて出てくる金額である。収入が伸びていない中、賃上げをしていることを理解してもらいたい。」

今年度の利益や有価証券の配当の分配については、「有価証券の配当は微々たるもの。利益について、来年はわからない。人件費は上がり、収入が下がれば利益は下がる。しっかり積み上げていかなければ（今後の賃上げに）対応できない。」との回答です。組合は定期昇給込み、基本給9,500円の引き上げを要求していますが、「売り上げが振るわなかった中で、頑張ったことも評価して2号俸昇給」との回答です。また4級職員以上、時給1,600以上の職員が賃上げから外されることについては「頑張っていないとは言わないが2号俸上げるほどではない。結果を出さないといけない。結果とは売り上げ。」

法人は人件費率60%を経営安定の目安として10年計画で賃上げを予定しており、月別勤労統計調査を根拠に妥当、きちんと分配していると主張しています。2号俸とは3,000～4,000円です。人が人にサービスを提供して利益が発生する業界です。人員が十分でない中、コロナ対応で頑張っています。いま働いている職員にもう少し分配できないか交渉を継続していきます。

### 2. 年間所定労働時間の短縮について

瑞祥会3日、ルポア1日の年間休日数の増を要求しています。2023年度からでなく、段階的に導入できないか交渉を行いました。「人員が少ない、コロナ禍の緊急事態で休みを増やすのはリスクがある」という理由で、すぐには難しいが人が早く集まれば、早く導入する可能性はあるとの回答です。

有給を使うのと同じ考え方であると考えています。また人を雇い入れる際の魅力の一つになる可能性もあります。1日からでも早期導入を目指して交渉を継続していきます。

### 3. 定年延長について

定年を満65歳の年度末とすることを要求しています。「介護・看護職員については2022年度から始められるように検討する。その他の職種については、雇入れに不便がないから（定年延長の）予定がない」との回答です。定年延長について、前向きに検討されていることを評価しますが、その他の職種についても介護、看護と同じように考えていただけるように訴えています。また、年金支給開始年齢が65歳に引き上げられることもあり、職種関係なく60歳を過ぎても安心して働け、生活できる環境づくりをお願いし、持ち帰っていただいています。

次回団体交渉は、3月29日（月）を予定しています。

ユニオンニュース次号で、それぞれの要求事項に対する進捗状況などを取りまとめ報告いたします。

## 瑞祥会グループ 施設紹介

瑞祥会及びルポアでは入所系、通所系、訪問系など多種多様なサービスを提供していることはご存知のことと思います。この中から、高松市新田町福祉の杜にある「真珠の湯デイサービスセンター」をご紹介します。

真珠の湯デイサービスセンターは、『自分が行きたい（行きたくなるような）デイを作る』を基本的な考えのもと、①大人として対応してくれる ②楽しみ（サプライズ）がある ③好きなように過ごせる ④温かい食事、豊富なメニューがある ⑤個別対応 を2019年4月から取り組んでいます。

なかでもクラブ活動に力を入れており、運動、音楽、書道、木工、園芸、大人の学校、装飾などを展開しています。ワンパターン、マンネリ化しないように利用者様と一緒に計画し、本格的な活動を行っています。

利用者様からは、「いろいろなことを教えてくれてうれしい」、「前は、こんなことしてくれなかった」「デイが楽しみ」などの声が届いています。ご家族、介護支援専門員へのアンケートを実施したところ、おおむね高評価をいただき、現在クラブ活動は「売り」のひとつになっています。

しかし、得意分野、スキルを持った職員は多くなく、外部講師を頼りたいが費用面で実現は難しく、今は職員のボランティア意識に依存していることが課題で苦労しているそうです。



また、『誰かに喜ばれる喜びを感じられるデイサービス』を今年の目標に掲げ、利用者様が主体的に生活できるように、「役割づくり」への取り組みをしています。カレンダーめくり、テーブル拭き、下膳、メニュー書き、メダカのえさやり、作物の水やり、湯呑洗い、トイレ掃除など小さなことから達成感や生きがいを味わってもらうことから始めています。「誰かの役に立った」「褒められてうれしい」という気持ちはいくつになっても同じです。利用者様の感情の部分に寄り添い、存在意義を見いだせるように気配りをしています。

3月に入り居宅支援事業所からの紹介が増えてきているそうです。この2年間でサービスの内容に対する評価は高まってきていますので、今後期待できるのではないのでしょうか。

数字だけでなく、サービスの充実や職員の頑張りに対してもしっかり見ていただき、評価していただくことで労働意欲も増し、数字にも結びついていくのではないかと思います。

✂-----きりとり-----

新規加入申込書

申込日 年 月 日

氏名	フリガナ	生年月日	
住所	〒		
電話番号			
施設名	経験年数	年	ヶ月
職種	雇用区分	正社員	パート